

## 分科会協議の進捗状況について

### (1) テーマの設定について

分科会協議項目として各委員から提案された内容と第2回会議で行った地域内視察研修をふまえて地域全体のまちづくりのあり方に照らし合わせて検討した結果、2つの分科会を設置し、それぞれの分科会の大項目を次のとおりとした。

- 第1分科会 「地域資源とその活用について」
- 第2分科会 「福祉・人づくり関係について」

### (2) 第1分科会 協議大項目：「地域資源とその活用方法について」 会議開催回数5回(合同会議含む)

#### 【協議経過】

・第1、2回分科会でそれぞれが提案した項目について説明を行い、地域資源の掘り起こしについて意見交換を行った。地域の活性化に向けて、どんな地域資源を取り上げ、どんなことに取り組んでいけば良いか検討を行った結果、単独でものを考えるのではなく、各資源をつなげて回遊性を活かしたものが必要ということになった。

・第3回分科会において、具体的なテーマ・方策内容等について協議した結果、更なる地域資源の掘り起こしを行い、地域外からの人たちだけを対象とするものではなく、地域住民からも与板のことを知ってもらいたい意味も含め、「与板再発見」というテーマを決めた。

・第4回分科会でテーマに沿った内容を少しでも具体化するための方策、方向性について意見交換を行う。

・継続性のある事業を提案するために数多くある活動団体が連携していける仕組みづくりも協議する必要がある。ふるさと創生基金事業として事業提案された中にも分科会協議内容と重複するものがある。

#### 【今後の協議の進め方】

・協議テーマを「与板再発見」として「天地人通り」や「河川公園」等の地域資源と「与板まちなみめぐりマップ」を活用し、地域住民の関心と感動を呼び起こす事業、活動内容について協議を進める。

### (3) 第2分科会 協議大項目：「福祉・人づくり関係について」 会議開催回数5回(合同会議含む)

#### 【協議経過】

・第1、2回分科会でそれぞれが提案した項目について説明を行ったが、協議内容の範囲が広いことから協議項目を絞込み具体的なテーマを決定することとした。

・各委員から高齢者対策やバリアフリー対策についての意見が多かったことから、第3回分科会で車椅子試乗体験を行い、体験をふまえて地域づくりについての意見交換を行う。

・協議の中で出た主な意見は、「バリアフリー対策は改善しようとする予算がかかる」「駐車場への案内表示が必要」「町内会単位で危険箇所マップを作成してはどうか」などがあり、「安全安心」をキーワードとして協議項目の絞込みを行うこととした。

#### 【今後の協議の進め方】

・安全安心をキーワードとして危険箇所・マップの作成やバリアフリー対策など、関係機関・町内会等の活動団体と連携を図りながら地域住民参加型の事業、活動内容について協議を進める。

### (4) 合同分科会 会議開催回数2回(各分科会時に同時開催)

#### 【協議内容】

- ・与板まちなみめぐりマップ掲載内容協議
- ・平成24年度ふるさと創生基金事業について